

6－（１）生徒指導全体計画

学 校 教 育 目 標

《基本目標》

心身ともに健康で 豊かな人間性と確かな学力をそなえた児童の育成

《具体目標》

- すすんで学ぶ子
- 思いやりのある子
- 元気な子

【目指す学校像】

- ◎安心・安全で楽しい学校
- 児童が「通いたい」
- 保護者が「通わせたい」
- 教職員が「勤めたい」
- 地域の方が「応援したい」



生徒指導のねらい

【自己指導能力の育成】

一人一人の児童の個性の伸張を図りながら、同時に社会的な資質や能力・態度を育成し、更に将来において社会的に自己実現ができるような資質・態度を形成する。

いじめ防止調査委員会

- ・校長・教頭・教務主任・生徒指導主任
- ・教育相談担当・養護教諭・スクールカウンセラー
- ・富岡警察署金井駐在所員
- ・主任児童委員・PTA 会長

生徒指導の課題

健康で安全な生活態度の形成
望ましい人間関係の育成
基本的生活習慣の形成
不安や悩みの解消

いじめ防止対策委員会

- ・校長・教頭・教務主任・生徒指導主任
- ・教育相談担当・養護教諭

道徳教育

人間としての生き方の自覚を深め、道徳的実践力を育成する。

生徒指導の方針

- ① 受容と共感に基づく児童理解を心がけ、一人一人のよさや興味・関心を生かした指導の工夫に努める（自己存在感の感受）。
- ② 児童が互いに自分の考えを交流し合い、それぞれのよさを学び合えるような場を設定するとともに、課題の設定や学び方について自ら選択して取り組めるようにする（共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供）。
- ③ 「新屋っ子のめあて」を活用し、指導方針の共通理解・協力体制の確立を図り、積極的かつ温度差のない生徒指導に努める（安全・安心な風土の醸成）。
- ④ 問題行動の早期発見や教育相談活動に努め、組織的・継続的な指導・援助の充実。

人権教育

人間尊重の精神に基づき偏見を持たずに公平公正にふるまい、望ましい人間関係がえられる児童を育成する。

教科指導

1.授業中の積極的な生徒指導
・考える力を育てる子ども主体の授業づくり

特別活動

1.望ましい集団生活の展開
・児童が主体となったいじめ防止活動の充実

教育相談

1.日常の児童理解の重視
・観察、諸検査、日記、生活ノート、面談などによる多面

家庭・地域との連携

1.幼小中の連携
・小1ﾌﾟﾛﾌﾟﾚﾑ、中1ｷﾞｬｯﾌﾟの解消
2.P T Aとの連携

2.自ら学ぶ力の育成 ・よさや可能性に着目 ・個に応じた指導の工夫 ・体験的活動の重視 ・自己決定の場の設定 3.基礎基本の徹底 ・身に付く授業の追究 ・満足感充実味の味える授業 4.望ましい学習習慣の定着 ・学習態度の適正化 ・言語活動の適正化 ・互いに尊重しあえる雰囲気作り 5 自己存在感 ・一人一人のよさや興味関心を生かした指導の工夫	・学級における温かい人間関係 ・協力して生活の向上を目指す 雰囲気の醸成 ・互いの考えを交流し、互いのよさを学びあう場の工夫 2.心身の調和のとれた発達 3.個性の発見と理解 4.社会性の育成 ・奉仕活動の推進 ・清掃活動の徹底 5.自主的・実践的な態度の育成 ・児童会活動、緑の少年団活動、クラブ活動の活性化 ・学校行事、諸活動への自発的参加	的な理解 ・問題行動の早期発見と指導助言 2.例月生徒指導会議 ・情報交換 ・共通理解と協力体制による一致指導 ・課題を持つ子の指導 担任と教育相談部との連携 3.教育相談の場の設定 ・担任による常時相談 相談室（和室）の活用 教育相談部との連携 ・家庭訪問、電話連絡、学級懇談会、教育面談 4.町教育研究所教育相談部の活用	・学校だより、学級だより等の活用 ・家庭訪問、電話連絡 ・学習参観、学級懇談会 ・集団登下校の重視 ・危険場所の点検と指導 ・登校時の交通指導 3.子育連との連携 ・子供会行事への積極的参加 4.社会体育指導との連携 ・野球、ハンド、テニス ・サッカー、剣道 5.各種団体、関係機関との連携 ・三校生徒指導対策協議会 ・生涯学習推進協議会 ・青少年健全育成協議会 ・主任児童委員、民生委員 ・児童相談所・SC.SSW・警察 ・適応指導教室・医療機関 6.町の行事への積極的参加
--	---	--	--

基本的生活習慣の定着

【「新屋っ子のめあて」の活用】	★ _____ は、「あたりまえ五箇条」に関わる部分です。
1. 生命尊重・健康安全に関すること 身体や衣服の清潔、洗面・歯磨き、 <u>守ろう交通ルール</u> 及びその他の安全。	
2. 規則正しく決まり守った、よりよい生活に関すること 物・金銭の活用及び自他の物の区別、時間を守る、身の回りの整理整頓、規則を守る。	
3. 礼儀作法に関すること <u>明るい挨拶</u> 、 <u>正しい言葉遣い</u> 、 <u>利用しやすく整理整頓</u> 、呼名、食事の作法，身だしなみ等の <u>衛生的な生活</u> 。	

児 童 理 解

①子どもの個性を尊重する。 ②子どもの認知的発達に即して理解する。 ③子どもの社会的発達に即して理解する。 ④子どもの内面から共感的に理解する。 ⑤子どもの長所に注目して理解する。
--